



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年8月10日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.16

トピックス

- ごあいさつ
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- 「カリフォルニアの風」
- 「フランス編」
- ゴルフコンペのお知らせ
- 校友会本部メンバー紹介

外大キャリアサポート

ホームステイ型首都圏就職活動
支援オペレーションシステムの
構築

10月東京オフィス機能創設

詳細は

臨時号として発信予定!

* 東京支部 NEWSLETTER 第16弾 *

8月になっても梅雨の明けない地域もあり、地球環境の悪化が心配されるようです。

ただ、エンデバーで宇宙より帰還した若田浩一さんの『草の匂いで、地球に優しく迎えられた感じでした』という一言を聞いて、ほっとしました ☆☆



東京支部 NEWSLETTER も今回で**16回目**です！
KUFS 現役生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思えます。まだ **NEWSLETTER** を受け取られていらっしゃらない方をご紹介しますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>>tonegawa@gm-group2.net

外大キャリアサポート事情 第11回



前号では文部科学省から平成21年度文部科学省「学生支援推進事業」学生支援プログラムが採択されたことをお伝えしました。「**ホームステイ型首都圏就職活動支援オペレーションシステムの構築**」という名称のもと、この10月から東京都内にオフィス機能が新たに創設されます。現在、その準備が着々と進められています。

毎年、1000名近い卒業生が本大学を巣立っていきますが、そのうち3割近い学生がこの首都圏に就職をしています。それに伴い学生にとって首都圏での就職活動は経済的・心理的な面での負担が大きく、スムーズな就職活動が実行できるようそのための支援体制を新たに構築しようというのがその狙いです。

そこで、東京支部との協力・連携でホームステイ型オペレーションシステムが構築できないかというチャレンジがスタートしようとしています。それに向けての具体的な理解と協力をいただくべく、近々、その**具体的内容を臨時特別号として皆様に発信の予定**です。

外大生・横顔シリーズ

外大生横顔シリーズ

昭和62年度英米語学科卒業

田中幸人さん

英語と京都が好きと言う理由で

京都外大へ進学

夢を持って入学したはずが

たった2ヶ月で5月病に...

せっかく京都で知り合ったのだから

ら辞めないで！の優しい言葉

辞めなくて良かった！！

心の中に4年間の楽しい思い出

貴重な経験と財産

東京電力に入社

意に反した営業部門の仕事

前向きに課題に取り組む姿勢で

社内留学制度に合格

慶応義塾大学大学院に留学

MBA 取得で自信につながる



昭和62年度英米語学科卒業

田中幸人さんをご紹介します。

英米語学科を卒業して21年が経ち、現在は神奈川県の葉山に住んでいます。私は新潟県で生まれ育ち、英語と京都が好きという単純な理由から京都外大へ進学しました。

修学旅行で訪れた古都京都の街で、思いっきり実践的な英語を学び、青春を謳歌し、将来は英語を使った仕事に携わる、というのが私の夢でした。

ところが、入学から2ヶ月ほどで「こんなはずじゃなかった...。」という壁にぶち当たり、大学を辞めることを真剣に考える事態になってしまいました。いわゆる5月病のもうちょっと深刻なやつだったのですが、クラスの友人や寮の仲間からの「せっかくこの京都で知り合ったのだから、辞めないで欲しい。」という暖かい言葉に促され、外大での生活を続けることになりました。甘かった私は、自分自身が努力しないまま、大学の授業や先生たちに多くを期待し、求めていたことの愚かさに、その後猛省することになりました。今考えても、本当に恥ずかしい限りです。

でも、ここで外大を辞めなくて本当に良かったと思います。卒業までの4年間、同じメンバーのクラスメイトと多くの楽しい思い出を心の中に残すことができました。また、新潟出身の私が、関西・京都という異文化に飛び込み、その懐の深さに触れることができた経験は、その後社会人としての厚みを形成する上で、本当に貴重な経験・財産となっています。京都外大で、京都で過ごした4年間は、私の人生で最も輝いていた時間です。

関東地方での就職を希望した私は、卒業後は、関東一円を事業エリアとする東京電力に入社しました。入社当初は、英語を活用して、原油や天然ガス、ウランなどの国際的な燃料調達にかかわることを希望していましたが自分の意に反して入社後は一貫して営業部門の仕事に携わることになりました。電力会社の営業と言っても電気を売り歩くわけではなく、例えばビルや工場、住宅で電気をより効率的に、お得にお使いいただくためのシステムや運用に関するコンサルト等を行うことで、継続して当社から電気を買っていただく活動を行うことです。最近で言えば、IHクッキングヒーター等によるオール電化住宅が知られています。

外大で学んだ英語(そんなに胸を張って言えるレベルではありませんが)を全く必要としなかった21年間は、外大での4年間で否定することにはなりません。外大時代に培った様々な知識や経験は、間違いなく生かされていると実感できるよう、前向きに様々な課題に取り組むようにしてきました。その一つとして、平成10年から2年間、社内留学制度に合格して慶応義塾大学大学院経営管理研究科(慶応ビジネススクール)に留学し、MBAを取得する機会に恵まれました。外大で英語だけ勉強したわけではない。これを自分自身に証明するために、マーケティングや会計、財務、組織論、経営戦略論などを通じ、実践的な経営学位を取得できたことは、その後の自信につながるのと同時に、外大で学んだことの意義を再確認できた貴重な機会でした。

現在本社で人材育成全般に係る責任者としてチャレンジ

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

渡辺庸生さん

メキシコ料理の分野において料理提供側に勘違いが多すぎる

サルサ&チップス

メキシコ本国には存在しない

トリオ・ロス・パンチョス来日で

日本にメキシコ料理が出現

中華料理からラーメンが

カレー、ポークカツレツから

カレーうどん、カツ丼が...

メキシコ料理も同様に

現在は、7月から新橋にある本社に異動し、営業部門の販売力強化や人材育成全般にかかわる責任者となり、チャレンジする毎日が続いています。なかなか京都に行く機会には恵まれません、いつでも行けるんだと思うとわが京都と京都外大は、心の中のすぐそこにあると思っています。これを支えに、今後も頑張っていきたいと思います。

外大生・横顔シリーズ



～開店当時の手作りレストラン～

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

昭和46年 イスパニア語学科中退
渡辺庸生さん

(昭和23年10月7日神戸生れ)
連載8回目です。

フランス料理やイタリア料理等に比べて、表現者が断然数少ない、メキシコ料理の分野において、一般の方々の認識の乏しさは致し方ないとしても、料理を提供する側にもあまりにも大きな誤解や勘違いがある。例えば、ナチョス、ブリトー、チリ・コン・カン、スパイシーなひき肉にトマト、チーズ、レタスを絡めたハードシェル tacos 等、

メキシコ本国には無い物ばかりである。これらはアメリカ国内における TEX-MEX の食文化に形成された彼らの好みの産物に他ならない。ましてやサルサ&チップスの提供のされ方もメキシコ本国には存在しない。

戦後、アメリカを世界の基準として、文化や生活体系を教えられた歴史を顧みると、我国におけるメキシコ料理の出現は、昭和35年のトリオ・ロス・パンチョスの来日によるラテン音楽ブームに端を発する。英語の歌を聴きなれた日本人にとって、スペイン語で歌われる歌詞は新鮮で、プロもアマもカバーする演奏者が一躍急増した。そんな彼らが出演する都市部のナイトクラブやライブハウスでメキシコの歌に似合うのはメキシコ料理だと、英語の料理本を訳して提供し始めたのが最初である。約50年の歳月になるが、当初、入り口を間違った所に根深いものがある。

TEX-MEX の成り立ちを考察してみると、ちょうど日本の中華料理の食文化に準えることができる。およそ100年余の期間に培われた我国の中華料理は、様々な献立が考案され、現在、全国の街角に無数の料理店が点在している。そこで提供されているラーメン(中華そば)や四川炒飯や中華丼、焼き餃子の形態等、中国本国には無いものばかりである。勿論、横浜や神戸の中華街、全国の専門店に北京、広東、四川、上海等の地域性豊かな特徴と共に、数多くの前菜やスープ、肉類や魚介の一品料理、デザートに至るまで揃っているのは周知の事実なのだが、やはり、私たちにとって身近な中華は前述のメニュー構成であろう。それぞれの国における外国料理の道筋は、その国の国民が好む食の普遍性に基づいて、根付いていくものと解釈できる。米や麺が主食の日本人には必然的に中華のテイストを取り入れる形に創作されていったのである。カレーやポークカツレツが、カレーうどんやカツ丼に定着したように...

移民の国アメリカでは、揚げ春巻きのようなチミチャンガは中国系の、ラザニアのようなエンチラーダはイタリア系の州で考案されたと推測できる。

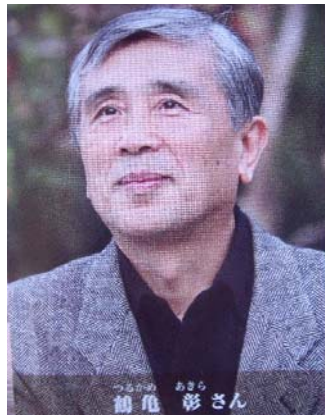
余談になるが沖縄発祥のタコライスがメキシコ料理だと勘違いされているのである。



渡辺さんの著書が京都外国語大学の図書館の蔵書に加わりました。

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

海外便り「カリフォルニアの風」



カリフォルニア在住の
昭和38年英米語学科卒業の鶴亀彰さん
からのお便りです。

「変わるアメリカ人の消費性向」

最近アメリカ人も大分変わったなと感じることが良くあります。その一つが彼らの消費性向です。もともとアメリカは楽天的な人が多く、アメリカン・ドリームを夢見て頑張る人が少なくありませんでした。

移民国家だけに裸一貫新生活での成功に懸命の努力をした第一世代でした。しかし、第二世代、第三世代となると、その質実剛健な生き方は変わり、イージーな大量消費社会へ変わって行ったという歴史があります。

「Buy Now, Pay Later」のキャッチフレーズで企業や商人は庶民の購買意欲を盛り上げて来ました。また月賦制度やクレジットカードの制度も発達し、将来の収入を見込んで、欲しい物をすぐに購入するのが極めて一般的な行動パターンになりました。経済は発展し、収入も上がり続け、その大量生産、大量消費のパターンは正しいもののように思われました。

ところがここに来て百年に一度とも言われる不況です。クレジットカード会社はライン上限金額を5千ドルを3千ドルに、3千ドルを1千ドルに減額し、今まで学生や収入の少ない若者などにも発行していたクレジットカードを発行しなくなりました。カード会社自体の取り漏れが増え、資金繰りも厳しくなったせいです。失業者の数も増え、平均労働所得も減っています。

さすがに今までは楽観的で、車は新車を三年や五年おきに買い換えたり、新型電気製品を発売と同時に買い求めた昔の傾向はほぼ消えました。テレビの主婦番組ではいかに自分が上手に節約しているかを競う番組が人気を得たり、新品でなく中古の品物を見つけたり、家庭菜園を始めたりと本当に様変わりです。現在は「Save Now, Buy Later」が一般消費者の傾

渡辺さんの著書

外大図書館蔵書に！

カリフォルニアの風

38年度英米語学科卒業

鶴亀彰さん

変わるアメリカ人の消費性向

もともと

アメリカン・ドリームを夢見て

頑張ってきたアメリカの人々

質実剛健から大量消費社会へ

Buy Now, Pay Later

経済の発展、大量生産、

大量消費のパターン

ところが・・・

百年に一度の大不況！

現在では

Save Now, Buy Later

町には Discount Thrifty の
看板が

アメリカ人消費傾向の変化を
国家間関係で捉えるとき

向です。

そのせいか町には Discount や Thrifty や Sale の看板が増え、リサイクル・ショップとして知られる Goodwill Store などに人気が集まっています。この傾向が来年か再来年景気が回復した後も定着するのかどうかは判りません。しかしアメリカ人も大量生産・大量消費社会へ戻る事はないように思われます。環境問題に対する配慮からエネルギーや物を大切に使う傾向は世界の動きと呼応して定着するのではと感じています。

しかしアメリカ人の消費性向の変化は国と国の関係で捉える時、米国は過去ほどには外国からの製品輸入をせず、絞って行く傾向になります。中国や日本など米国市場への大量輸出で収入を得た今までの状況も変化を求められるでしょう。今後は本当に米国人消費者が必要とし、エコな商品の開発が求められるようです。

「Save Now, Buy Later」



海外便りフランス編

平成12年度フランス語学科卒業
寺尾恵さん

Mon trésor 私の宝物

家族が増えました！

日本のマンション暮らしでは
猫をかうのは難しい

フランスでは猫を飼う人が
意外に多い

海外便り「フランス編」



夢の実現のためにフランスで
がんばっていらっしゃいます
平成12年度フランス語学科卒業
の寺尾恵さんからのお便りです。

**Mon trésor
わたしの宝物**

先日家族がふえました。子猫です。

母は猫が好きで、私の知る内では実家には常に猫がいて、その状態に慣れているもので日本で一人暮らしをしている間も是非縁があれば飼いたいなあ、とは思っていたのですが、なかなかどうして、これが難しい。一人暮らしといえば大概是マンション、アパートだし、そうなると大家さんの了解が要るだろうし、もちろん隣人に鳴き声や臭いで迷惑をかけるわけにもいかないので、実現せず。

ところがフランスで私の知る人たちのなかでは猫を飼っている人が意外に多くて、壁紙やデコレーションを住む人たちがアレンジするのが普通だから、賃貸といってもそれほど心配がないからかしらと思っていたところだし

知り合いのところで生まれた

20匹のうちの1匹

名前は日本らしく

“タマ”

タマ=丸いもの、宝物・美しい女

意味は？と聞かれ

宝物と答える

第1回関東地区ゴルフコンペ

のお知らせ

総会・懇親会と違った集まりを！

皆様ふるってご参加を！

た。(実際日本では柱や壁を汚すのが怖かった！)

さて、知り合いのところで猫が生まれて貰い手を探しているというので、いってみるとなんと 20 匹もの子猫が重なるようにもごもごと…それじゃあ、何かの縁なのでと一匹引き受けることに。こうして、同居人がふえたのでした。

名前を早速考えなければ…周りの人のリクエストで日本らしい名前を考えることに。最初に思いついたのが“タマ”。それと黒猫なので“クロ”。クロはフランス語で当て字にすると“CLOS”ちょっとした囲われた土地なんかを言うそうで、よくワインの名前にもついている。シャブリのグラン・クリュにもこの名前のワインがあるし、いいかな…と。まあ、結局はタマになったのですが…(クロは皆さん良ご存知の発音なので面白みがなかったようで…)

日本でタマというと猫の名前ですよ(とにかく犬ではないかな)。深く考えたことはなかったのだけどどういう意味？と聞かれると答えられない訳にはいきませんよね。タマ…丸いもの、宝物、美しいもの。なるほど、なるほど、ほかにも広辞苑を引いてみると“美しい女”というものがありました。どうも昔から座っている猫を見ると着物姿のたおやかな女性を連想してしまいます。それじゃあ、メスだしちょうどよかったかもなんて納得。どういう意味？と訊かれるたびに、“Trésor !”(宝物)と答えるのでした。

*** ガンバレ、外大卒業生！ ***

関東地区ゴルフコンペのお知らせ

予てより、総会・懇親会と違った集まりを模索していました。今回監査役の天野氏(42E)の企画で、来月の開催となりました。最初は東京支部幹事と実行委員、ゴルフ愛好家OBなどでスタートします。2～3組で始めたいと考えています。

京都外国語大学 校友会 東京支部主催 『第一回関東地区 ゴルフコンペ』準備有志コンペ』

日時 平成21年9月12日(土) 10:15スタート 2組～3組
場所 芝山ゴルフクラブ (千葉県山武郡芝山町大沼2176)
0479-77-4123

集合時間 9:30(クラブハウス)

プレー費 15,800円 コンペ費 200円

申し込み締め切りは、8月20日(木)メールにて天野迄お願いします。

メールアドレス: osamu_amao@ogacon.co.jp

京都外大校友会メンバー紹介

京都外大校友会メンバー

昭和45年度英米語学科卒業

副会長・藤井章子さんのご紹介



今回の京都外大校友会の
メンバーは

昭和45年度英米語学科卒業
藤井 章子さんです。

校友会東京支部の皆さま、こんにちわ！

在学生へのカンパ

ご協力ありがとうございました！

校友会との出会いは

校友会報校正のお手伝いから

書記として校友会事務局に勤務

その後会計から副会長に！

生来のおっちょこちよい

悪気は無いので大目に見てね！

校友会活動は参加するのが楽し

いことが大切なこと

年齢に関係なく交流できることは

素晴らしい！

7月の「卒業生の集い」に参加してとても楽しいひと時を過ごしました。当日に私がお願いした在学生へのカンパにも快く協力戴いたお陰で、何と19926円+1\$も集まり、先日代表者の後輩に渡すことができました。重ねてお礼申し上げます。

さて、校友会との出会いがいつ頃だったのか・・・本人でも思い出すのが困難なくらい昔々の気がします。その当時は、ミニコミ紙の編集・企画に身を置いていた関係で、1年に1度発行する校友会報の校正などのお手伝いを依頼されたのがきっかけだったと記憶しています。校友会事務局に勤務するようになったのは、平成6年7月からで、その時の役職は書記、週に1度事務局に顔を出していました。

その後、平成9年からは会計そして平成18年に副会長に選任されて今日に至っています。現在は、月・水・金と週に3回大阪から京都に通っていて、どんなことをしているかと言いますと、仕事内容は多岐にわたっています。

嬉しいこと・悲しいこと

腹の立つこと、色々ありますが、校友会の年間の事業計画がスムーズに進行していくように配慮することが中心で最も大切なことです。

慎重にやっているつもりでも、生来のおっちょこちよいが災いして、時として会長や役員、常任幹事の皆さんは言うに及ばず、校友会員(卒業生)の方々がドキッとされる状況もあるのですが、まあ悪気は無いから大目に見て下さいね。

校友会活動は、参加するのが楽しいことが大切だと思います。そして先輩から後輩まで年齢に関係なく交流出来ることは本当に素晴らしいことだと思いませんか？これからもどうぞ宜しくお願いいたします。そして母校に足を運ばれる機会があれば、11号館の2階にある事務局にもお立ち寄りくださいね。

*** 活動メンバー募集中 ***

事務局

103-0024

東京都中央区日本橋小舟町

2-9 カーサ日本橋ビル7階

(株)グローバルメディア内

電話

03-5623-6550

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦

=====**事務局便り**=====

文部科学省から平成21年度文部科学省「学生支援推進事業」学生支援プログラムが採択され、東京オフィスの設置が進んでいます。現役生と卒業生の掛橋になることを目標に掲げ、このニュースレターの配信を始めてから1年4ヶ月。徐々に目標に近づいてきたことをうれしく思います。

今後も現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思ひます。

皆様の更なるご協力をよろしくお願ひいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問ひませんので、

当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

=====